

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 7 各部配筋, 8 圧接完了後の試験, 9 帯筋, 10 最上階柱頭補強, 11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋, 12 壁開口部の補強, 13 梁貫通孔の補強, 14 基礎梁主筋の継手, 15 機械吊上げ用フック.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1 レディーミクストコンクリートの種類, 2 コンクリートの種類, 強度及び材料. Includes a table for concrete strength and material properties.

4 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ※A ※B (6.3.1)

5 軽量コンクリート 種類 ※1種 ※2種 (6.10.1)(表6.10.1)

6 無筋コンクリート 適用箇所 ※標仕 6.14.1(4)による箇所 ※標仕 6.14.1(4)以外の箇所 ※図示による (6.14.1)

7 ひび割れ誘発目地 打設目地 目地寸法 ※標仕 9.7.3による ※図示による 間隔、位置、形状 ※図示による (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)

8 コンクリート仕上り 部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ※標仕 表6.2.3による (6.2.5)(表6.2.3) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による (6.2.5)(6.9.3)(表6.2.4)

9 打増し厚さ (打放し仕上げ部) ・打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm (6.8.1) ・打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) (6.8.1) ・外壁タイル張り、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う (6.8.2)

10 型枠 せき板の材料 ・合板(国産材) (6.8.2) せき板の厚さ ・12mm (6.8.2) 断熱材の兼用 ・行う 適用箇所 () ・行わない スリーブの材質 ※標仕 6.8.2(9)(イ)及び表6.8.1による ()

11 単位水量の測定 ・有り ・無し

12 混和材料 ・混和剤 ・AE剤 ・高性能AE減水剤 ・防錆剤 () ・混和材 ・フライアッシュ (・I種 ・II種 ・III種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカヒューム ・膨張材 ()

13 圧縮強度試験 公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位 ()

4 1 鉄骨製作工場 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 (7.1.3) ・S ・H ・M ・R ・J グレード以上 ・監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)

2 施工管理技術者 ※適用する (7.1.3~4) ・適用しない

Table with 3 columns: Material Name, Application Location, Specification. Title: 鋼材 (7.2.1)(表7.2.1)

4 高力ボルト ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~9) ・トルンア形高力ボルト ・セットの種類 ・2種(S10T) () ・JIS高力ボルト ・セットの種類 ・2種(F10T) () 高力ボルトの径 ・図示による () ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () すべり係数試験 ※行わない (7.4.2) ・行う 試験方法等 ・図示による ()

5 普通ボルト ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ・標仕 表7.2.3による () 座金 ・標仕 7.2.3(4)による () ボルトの径 ・図示による () ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () (7.2.3)(7.3.2)

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 (7.2.2)(7.12.3~4) ・1種(F8T相当) () 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による (7.3.8) ・図示による () ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () 摩滅面の処理 ・プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上)又はりん酸塩処理 ()

7 アンカーボルト 適用 (7.2.4)(表7.2.3)(7.10.3) ・構造用アンカーボルト ・セットの種類 ・JIS II-13-2004 JIS B 1220 ABR400 () ・JIS II-13-2004 JIS B 1220 ABR490 () ・形状、寸法 ・図示による () ・建方用アンカーボルト ・材質 ・SS400 () アンカーボルト及びナットのねじの種類、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.3による () ・形状、寸法 ・図示による ()

8 溶接材料 溶接材料 (7.2.5) ※標仕 7.2.5(1)(2)による。 ※標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による ()

9 ターンバックル 種類 (7.2.6) ・建築用ターンバックル胴 ・割枠式 () ・建築用ターンバックルボルト ・羽子板ボルト () ・ねじの呼び ・図示による ()

Table with 4 columns: Material Name, Application Location, Material/Shape/Dimensions, Remarks. Title: デッキプレート (7.2.7)

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。) ・図示による () デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) ・アークスポット溶接又は隅肉溶接 () (7.7.8) デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ) ・焼抜き検査 ・スタッド () 耐火認定 ・有り 耐火時間 ・図示による () ・無し

11 レール及びその付属品 形状及び寸法等 ・図示による ()

Table with 3 columns: Material Name, Application Location, Material/Shape/Dimensions. Title: スタッド (7.2.8)

13 柱底均しモルタル モルタルの種類 (7.2.9) ※無収縮モルタル () ※無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7.2.9(2)による () 品質及び試験方法 ※標仕 表7.2.5による ()

14 工作図 監督員による現寸検査 ・行わない (7.3.2) ・行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。

4 15 鉄骨の製作精度 (7.3.3) ※標仕 7.3.3による 溶接ずれ及び食い違い ・溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する ただし書きの計算確認有り。 ・図示による ()

16 鉄骨の仮組 仮組を行う範囲 ※図示による () (7.3.10) 確認方法、確認項目 ※図示による ()

17 溶接技能者の技量付加試験 試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※ ※図示による () (7.6.3)

18 溶接接合 開先の形状 ※図示による () (7.6.4) スクラップの形状 ※図示による () (7.6.7) 鋼製エンドタブの切除部分 ・全て ・見え掛り部となる部分 ・切除する部分なし () (7.6.7) 溶接部の余盛り高さ ()

19 現場溶接の有無 ・無し () ・有り 適用箇所 ・図示による ()

20 入熱、バス間温度溶接条件 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による () 適用箇所 ・図示による () ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

21 溶接部の試験 完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)(表7.6.2~4) ・行わない ・行う ※工場溶接の場合 ・全数検査 ※抜取検査 AOQL(%) ※4-0 レベルII ・2-5 レベルI 検査水準 第6水準 ()

22 閉止め塗装 塗料の種類 (7.8.4)(18.3.2) ・鉄鋼面の閉止め塗料 標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz) 種 屋外 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※As ・Bs) 種 () 屋内 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※As ・Bs) 種 () 亜鉛めっき鉄鋼面の閉止め塗料 ・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz) 種 () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※As ・Bs) 種 () 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・行わない () ・行う 適用箇所 ・図示による () 塗料の種類 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※As ・Bs) 種 () ・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz) 種 ()

23 耐火被覆 種別 (7.9.2~7) 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火材張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

Table with 2 columns: Performance, Application Location (Part/Part). Title: 性能 (7.9.2~7)

24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1) 種別 ・A種 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・図示による () 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 ※標仕 表7.10.2 (※A種[モルタル厚さ50] ・B種[モルタル厚さ30]) による (7.10.3)(表7.10.2)

25 軽量形鋼構造 接合部(ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合 () (7.11.2)

Table with 4 columns: Material Name, Application Location, Material, Remarks. Title: 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分) (7.12.4)(表14.2.2)

27 梁貫通孔の補強 補強方法 ・補強トラス法 () () 適用箇所 ※図示による ()

Form for project information: 福島県○○建設事務所建築住宅課, 建築士事務所名, 設計者氏名, 工事名称, 図面名称, 図面番号.

5 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
※ 空洞ブロック-16	・ 120 ・ 150	※ 400	※ 200	※ 無		
※ 型枠状ブロック-20				※ 無		

各部の配筋 ※ 図示による
化粧目地の有無 ※ 無・有

2 コンクリートブロック壁壁及び塀

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	(※8.3.1)以外の適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・ 空洞ブロック-08	・ 120 ・ 150	※ 400	※ 200	※ 無	・ 有	
・ 空洞ブロック-16	・ 120 ・ 150	※ 400	※ 200	※ 無	・ 有	

各部の配筋 ※ 図示による
化粧目地の有無 ※ 無・有

3 ALCパネル

パネルの種類	単位荷重(N/㎡)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工		構造の種類
					平	意匠	
・ 外壁パネル		・ 100		・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間	・ 平 ・ 意匠	・ A種 ・ B種	
・ 間仕切壁パネル		・ 100		・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間	・ 平 ・ 意匠	・ C種 ・ D種	
・ 屋根パネル		・ 100		・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間	・ 平	F種	
・ 床パネル		・ 100		・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間			

耐風圧性能 ()
耐震性能 ()
パネル幅の最小限度 ※ 300mm
パネル短辺小口相互の接合部の伸縮目地幅 ※ 10~20mm
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅(mm) ※ 10~20
伸縮目地への耐火目地材の充填 ※ 適用する ・ 適用しない

4 押出成形セメント板(BCP)

パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	工法の種類		耐火性能
				A種	B種	
・ 外壁パネル	・ F ・ D ・ T	・ F-R ・ D-R ・ T-R	・ 50 ・ 60 ・ 100	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間
・ 間仕切壁パネル			・ 50 ・ 60 ・ 100	・ B種 ・ C種	・ B種 ・ C種	・ 30分 ・ 1時間 ・ 2時間

耐風圧性能 ()
耐震性能 ()
大臣認定以外の目地及び隙間の処理 ※ パネル製造所の仕様
パネル幅の最小限度 ※ 300mm
パネルの相互の目地幅(mm) ※ 900mm以下の場合 長辺10以上 短辺15以上
900mmを超える場合 長辺15以上 短辺15以上

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※ 15
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。

パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	切断後のパネルの残りの幅
短辺	・ 図示	・ 図示
長辺	・ 図示	・ 図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・ 図示
	長辺	・ 図示

6 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

4 塗膜防水

5 ケイ酸系塗膜防水

6 脱気装置

7 シーリング

8 保証書の提出

9 屋根コンクリート防水

10 施工履歴

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E-1		・ E-2	

防水層の地下、立上りコンクリート打放し仕上げ
※ 標仕 表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
押え金物の材質及び形状
※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
防水層の地下のモルタル塗り ※ 適用する (施工範囲) ※ 図示による
※ 適用しない
屋根排水溝 ※ 図示による ()

防水層の種類 (9.3.2~4) (表9.3.1~3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考
・ AS-T1				
・ AS-T2				
・ AS-T3				
・ AS-T4				
・ AS-J1				
・ ASI-T1	(材質) ※ JIS A 9521によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ※ 25mm		・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)	・ 設けない
・ ASI-J1				

仕上塗料 ※ カラー ・ シルバー
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による ()
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による ()
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による ()
押え金物
※ 改質アスファルト製造所の仕様による ()

防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~2)

種別	施工箇所	可搬形移動防止用シートの材質	断熱材	仕上塗料	備考
・ S-F1				※ カラー ・ シルバー	
・ S-F2				※ カラー ・ シルバー	
・ S-M1					
・ S-M2					
・ SI-F1	(材質) ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ) ※ 25mm			※ カラー ・ シルバー	
・ SI-F2					
・ SI-M1	(材質) ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 (厚さ) ※ 25mm			※ カラー ・ シルバー	
・ SI-M2	※ 発泡ポリエチレンシート (厚さ) ※ 25mm				
・ S-C1					

歩行 ・ 軽歩行 ・ 非歩行
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.4.1~表9.4.2による ()
固定金具の材質及び寸法形状
※ 標仕 9.4.2(3)(イ)による ()
仕上塗料の種類及び使用量
※ 図示による ()
防水下地かPCコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理 ※ 図示による ()
入隅部の増張り(S-F1, SI-F1の場合) ※ 図示による ()

防水層の種類 (9.5.2~4) (表9.5.1~2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備考
・ X-1		※ カラー ・ シルバー		
・ X-2		※ カラー ・ シルバー		
・ Y-1	※ 地下外壁防水			
・ Y-2	※ 屋内防水			

・ 超速硬化ウレタン防水
・ FRP系塗膜防水
仕上塗料の種類及び使用量 ※ 図示による

防水層の種類 (9.6.2~4) (表9.6.1~2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ C-SUI		・ C-SUP	

防水層の種類 (9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4	※ アスファルトルーフィング類製造所の仕様による	※ アスファルトルーフィング類製造所の仕様による
DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4		
AS-J1 ASI-T1 ASI-J1		
X-1	※ 防水層の主材料の製造所の仕様による	※ 防水層の主材料の製造所の仕様による

下表以外は、標仕 表 9.7.1による (9.7.2~5) (表9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤塗りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

種別	シーリング材の種類(記号)

仕上げ ・ あり ・ なし
シーリング材の目地寸法 ※ 標仕 9.7.3(1)(ア)~(イ)による ()

8 保証書の提出
保証書のある場合は提出すること。

9 屋根コンクリート防水
クラック防止溶接用金網 (県:第2編 9.8.2)
※ 3.2×100×100 ()
屋根スラブの配筋 (県:第2編 9.8.3)
()

10 施工履歴
※ 監督員と表示内容を協議し、指示の位置に取り付ける (県:第1編 1.3.7)

7 石工事

1 施工

2 石材等

3 外壁湿式工法

4 内壁空積工法

5 乾式工法
外壁乾式工法

6 床及び階段の石張り

7 アーチ、上げ裏等の石張り

7 笠木、甲板等の石張り

8 製造所及び施工業者

石材の割付け ※ 標仕 10.1.3(1)(ア)~(イ)による (10.1.3~5)
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ※ 図示による ()
屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け ※ 行う (適用場所) ※ すべて ・ 行わない

天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考
	・ 1等品 ・ 2等品		※ 矩形0.8㎡/枚	・ 図示		・ 粗磨き ・ 本磨き	
	・ 1等品 ・ 2等品		※ 矩形0.8㎡/枚	・ 図示			

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	・ 図示		
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5~12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	・ 図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5~12	・ 300型 ・ 400型		
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5~12	・ 300型 ・ 400型		

取り付用モルタル、既設合の目地モルタル、浸透性防水材、石裏面処理材、裏打ち処理材
※ 石材施工業者 専門工事業者の指定する製品 ()
※ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー ・ 横筋流し工法

石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない (10.2.2~3) (10.3.2~3)
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
下地ごしらえ ※ あと施工アンカー ・ 横筋流し工法 ・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法

受金物
材質 ()
形状及び寸法 ()
樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ()
アンカーの材質及び径 ※ SS400 M12 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地
一般目地 目地幅(mm) ※ 6以上 6~10 ()
シーリング材 ※ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 ※ (11.1.3)による ()
シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3[目地寸法](1)(ウ))による ()

受金物 (10.2.2) (10.4.2~3)
材質 ()
形状及び寸法 ()
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
下地ごしらえ ※ あと施工アンカー ・ 横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径 ※ SS400 M12 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地
一般目地 目地幅(mm) ※ 6以上 6~10 ()
シーリング材 ※ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 ※ 6mごと ()
シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3[目地寸法](1)(ウ))による ()
外壁乾式工法方式による金物の種類、形状、寸法等 ()

取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 (10.2.2) (10.5.2~3) (表10.2.4)
石裏面処理 → 適用する → 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
だば用の穴の位置 ※ 標仕 10.5.2(2)(ア)による ()
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
※ 適用しない
※ ステンレス(SUS304) M10 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 目地幅(mm) ※ 8以上 ()
シーリング材 ※ 適用する (※ 標仕 9章8節[シーリング]による ()
・ 図示) ・ 適用しない

床の浸透性防水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない (10.6.2~3)
床の石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
床の裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
階段の石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
目地
一般目地 目地幅(mm) ※ 図示による 屋外:4mm以上 屋内:3~6mm ()
シーリング材 ※ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所 ()
・ 図示による

取付け工法 → 外壁湿式工法 → 内壁空積工法 → 乾式工法 (10.2.2) (10.7.2)
取付け金物 ※ 標仕 10.2.2(3)による ()
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※ 標仕 10.2.2(1)による ()
吊金物及び化粧吊りボルト ()
・ 設ける 吊金物 ※ ステンレス(SUS304)径6mm長さ90mm(加工物) ()
吊りボルト ※ ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き ()
石裏面処理 → 適用する → 適用しない
裏打ち処理 → 適用する → 適用しない
アンカーの材質及び径 → SS400 M12 → ステンレス(SUS304) M10 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※ 6以上 ()
伸縮調整目地 位置 ※ 他の部位との取合い部 → 図示

取付け工法 (10.2.2) (10.7.3)
取付け金物 ()
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※ 標仕 10.2.2(1)による ()
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※ 標仕 10.5.3(2)による ()
石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない
アンカーの材質及び径 ・ ステンレス(SUS304) M10 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

監督員の承諾による。

8 タイル工事
1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
3 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
4 陶磁器質タイル型枠先付け
4 階段滑り止め

9 木工事
1 表面仕上げ
1 製材
2 造作用集成材

3 造作用単板積層材
4 直交集成板
5 床張り用合板等
6 接着剤
7 防蟻・防蟻・防虫
8 不燃処理木材等

10 木造工事
1 軸組構法工事
2 大断面集成材工事
3 工作図

10 木造工事
4) 大断面集成材
5) 接合金物等の材質
6) 製作精度
7) 表面仕上げ
8) アンカーボルト
9) 柱底均し仕上げ
10) 普通ボルト
11) ボルト孔
12) ラグスクルー
13) ドリフトピン
14) ジベル
15) 錆止め塗装
16) 亜鉛めっき
17) 防火被覆材
18) 防火被覆処理

11 屋根及びとい工事
1 長尺金属板葺
2 折板葺
3 とい

12 金属工事	1 あと施工アンカーの確認試験 (14.1.3(1) (ニ)) による確認試験を行う。 (14.1.3)	14 建具工事	1 アルミニウム製建具 (16.2.2~5) (表16.2.1)	14 建具工事	8 建具用金物 (16.4.6) (16.8.4)																														
	2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (14.2.2) (表14.2.2)		2 網戸等 (16.2.3(5))		9 鍵箱 (16.8.4)																														
	3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)		3 樹脂製建具 (16.3.2) (表16.3.1~3)		10 自動ドア開閉機構 (16.9.2~3)																														
	4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)		4 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)		11 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.2~3) (表16.10.1)																														
5 金属成形板張り	5 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)	12 重量シャッター (16.11.2~4) (表16.11.1)																																	
6 アルミニウム製笠木 (14.7.2~3) (表14.2.1)	6 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)	13 軽量シャッター (16.12.2~4)																																	
13 左官工事	1 仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1)	7 木製建具 (16.7.2~4) (表16.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強度 (Pa)</th> <th>開閉形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・一般重量シャッター</td> <td>・設ける ・設けない</td> <td>・1600 ・()</td> <td>・上部電動式 ・上部手動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装用防火シャッター</td> <td>・設ける</td> <td></td> <td>・上部手動式</td> <td>・ 危害防止機構 ・ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ シャッター方式 ・ 二段降下方式</td> </tr> </table> <p>電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ・ 図示 ・ ()</p> <p>電動シャッターの障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示 ・ ()</p> <p>屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ・ 図示 ・ ()</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ・ Z12又はF12 ()</p> <p>電動式の場合の電源 ・ 三相200V・75kw以下 (過電流保護装置付) ()</p> <p>工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。</p> <table border="1"> <tr> <th>開閉形式</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強度 (N/㎡) (Pa)</th> </tr> <tr> <td>・ 手動式</td> <td>・ 設ける</td> <td>・ 50 1600</td> </tr> <tr> <td>・ 上部電動式 (手動併用)</td> <td>・ 設けない</td> <td>・ 65 () ・ 80</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) ・ めっき量 ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板) ・ AZ90</p> <table border="1"> <tr> <th>スラットの形状</th> <th>ガイドレール・座金の材質</th> </tr> <tr> <td>・ インターロック型</td> <td>・ ステンレス (SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・ オーバーラッピング形</td> <td>・ 溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式の場合の安全装置 急降下停止装置 ・ 設置する (・ 図示による ()) ・ 設置しない [障害物感知装置 (自動閉鎖型)] 電源 [単相 100V (過電流保護装置付)] ()</p> <p>工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。</p>			種類	シャッターケース	耐風圧強度 (Pa)	開閉形式	備考	・一般重量シャッター	・設ける ・設けない	・1600 ・()	・上部電動式 ・上部手動式		・外装用防火シャッター	・設ける		・上部手動式	・ 危害防止機構 ・ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ シャッター方式 ・ 二段降下方式	開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度 (N/㎡) (Pa)	・ 手動式	・ 設ける	・ 50 1600	・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない	・ 65 () ・ 80	スラットの形状	ガイドレール・座金の材質	・ インターロック型	・ ステンレス (SUS304)	・ オーバーラッピング形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板
	種類	シャッターケース	耐風圧強度 (Pa)	開閉形式	備考																														
	・一般重量シャッター	・設ける ・設けない	・1600 ・()	・上部電動式 ・上部手動式																															
	・外装用防火シャッター	・設ける		・上部手動式	・ 危害防止機構 ・ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ シャッター方式 ・ 二段降下方式																														
開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度 (N/㎡) (Pa)																																	
・ 手動式	・ 設ける	・ 50 1600																																	
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない	・ 65 () ・ 80																																	
スラットの形状	ガイドレール・座金の材質																																		
・ インターロック型	・ ステンレス (SUS304)																																		
・ オーバーラッピング形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板																																		
2 ALCパネルの場合の下地処理 (15.6.4)	7 木製建具 (16.7.2~4) (表16.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色</th> <th>吹付け厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 一般用 ()</td> <td>・ 着色 ・ 原色</td> <td>・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> </table>			種類	色	吹付け厚さ	・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																									
種類	色	吹付け厚さ																																	
・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																																	
3 マスチック塗料塗り (15.7.2) (表15.7.1)	7 木製建具 (16.7.2~4) (表16.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色</th> <th>吹付け厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 一般用 ()</td> <td>・ 着色 ・ 原色</td> <td>・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> </table>			種類	色	吹付け厚さ	・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																									
種類	色	吹付け厚さ																																	
・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																																	
4 ロックウール吹付け (15.12.2~4)	7 木製建具 (16.7.2~4) (表16.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色</th> <th>吹付け厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 一般用 ()</td> <td>・ 着色 ・ 原色</td> <td>・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> </table>			種類	色	吹付け厚さ	・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																									
種類	色	吹付け厚さ																																	
・ 一般用 ()	・ 着色 ・ 原色	・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																																	

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△△1-1		建築士事務所名	工事名称
	設計年: 令和〇〇年〇〇月	設計者氏名	印	図面名称

14 オーバーヘッドドア

15 ガラス

16 ガラス用フィルム

15 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

2 メタルカーテンウォール

3 PCカーテンウォール

(16.13.2~3)

セクション材料による区分	耐風圧 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 1250 ・ 1000 ・ 750 ・ 500	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)

電動式の場合の障害物感知装置の設置場所
※ 図示による

・ フロントガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・ 図示(※建具表)による

・ 型板ガラスの厚さによる種類
・ 図示(※建具表)による

・ 網入りガラス及び線入りガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・ 図示(※建具表)による

・ 合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・ 図示(※建具表)による

形状による種類
・ 平面合わせガラス
・ 曲面合わせガラス
落球衝撃は、離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・ I類
・ II-1類
・ II-2類
・ III類

・ 強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・ 図示(※建具表)

・ 熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・ 図示(※建具表)による
・ 1類
・ 2類

・ 複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
断熱性による区分
・ T1
・ T2
・ T3
・ T4
・ T5
・ T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・ G
・ S
乾燥気体の種類
・ 空気
・ アルゴン

・ 熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 図示(※建具表)による
日射熱遮蔽性による区分
・ 1種
・ 2種
・ 3種
耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・ A類
・ B類

・ 倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 図示(※建具表)による

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2~4) (図16.14.1)

留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ グレージングチャンネル ・ シーリング材 ・ ガスケット	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示による
樹脂製	※ 押線及びグレージングガスケット	
鋼製及び鋼製軽量ステンレス製	※ シーリング材 ・ () ※ シーリング材 ・ ()	

ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工
・ 建具表による

ガラスブロック積み
JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの (16.14.5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	クリア乳白	平積み	目地幅	面積積み	伸縮目地調整位置	防火設定
・ 正方形	・ 160x160	95	・ ()	・ ()	※ 8~15	外側	※ 6m以下 とに幅10 ~25mm	・ なし ・ 防火設備 ・ 防火設備	
・ 長方形	・ 200x200	95	・ ()	・ ()	・ ()	内側	※ 6以上	・ 図示による	

名称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 95%以上

品質 JIS A 5759による。

(17.1.3)

耐風圧性	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (°C)	遮音性	断熱性
・ 1.0	・ 0.5			・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60		

(17.2.2)

材料	規格	映像調整
※ アルミニウム製	※ 標仕 16.2.3による	・ A-1種 ・ A-2種 皮膚の種類 (※標仕 表14.2.1による) 着色()
・ ステンレス		・ 行う ・ 行わない

製品及び取付位置の寸法許容差
ガラス溝の寸法、形状
シーリング材の種類
ガラスの取付方法

(17.3.2~5)

カーテンウォールの材料

材料	規格
※ アルミニウム製	※ 標仕 17.3.2(1)(ア)~(イ)による
鉄筋	※ SD295 (・ D13 ・ D10)
補強鉄線	径(mm) 3.2 4.0 5.0 6.0
網目寸法	
鉄筋	※ 図示による

先付けの材料
表面仕上げ剤

・ サッシ枠
・ 磁器質タイル
・ 石材 (・ 花こう岩
・ 大理石

ゴンドラ用ガイドレール
セラミックタイル

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・ h=1~+2, W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差
・ 図示()

16 塗装工事

1 材料

2 素地ごしらえ

3 錆止め塗料塗り

4 塗装

17 内装工事

1 接着剤

2 ビニル床シート

3 ビニル床タイル

4 視覚障害者用床タイル

5 ビニル幅木

6 ゴム床タイル

7 カーペット敷き

8 合成樹脂塗床

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・ 防火材料
・ 防カビ材料
・ 防臭材料
・ 防汚材料
・ 防湿材料
・ 防虫材料
・ 防藻材料
・ 防霉材料
・ 防菌材料
・ 防黴材料
・ 防カビ材料
・ 防臭材料
・ 防汚材料
・ 防湿材料
・ 防虫材料
・ 防藻材料
・ 防霉材料
・ 防菌材料

(18.2.2~7) (表18.2.1~7)

種別	下地面等	塗料の種類	備考
木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗りの場合	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種	
鉄鋼面	耐候性塗料(DP)の場合 耐候性塗料(DP)以外の場合	※ B種 ・ A種 ・ C種 ※ C種 ・ A種 ・ B種	
亜鉛めっき鋼面(注)		※ A種 ・ B種	
モルタル面及びせつこうプラスター面		※ B種 ・ A種	
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	耐候性塗料(DP)の場合 耐候性塗料(DP)以外の場合	※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種	
せつこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 目地: 継目処理工法以外	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種	

注) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種類

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具の場合又は2層形ウレタンエナメル塗料若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗料の場合
B種	A種-C種以外
C種	下塗りに合成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

(18.3.2) (表18.3.1)

錆止め塗料の種類

種別	塗料の種類	備考
鉄鋼面	SOP DP EP-G	※ A種 ※ 1回目 C種、2・3回目 D種 ※ B種 ・ A種
亜鉛めっき鋼面	SOP 鉄鋼塗料等 SOP その他 DP EP-G	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種

(18.3.3) (表18.3.3~6)

工程の種類

種別	下地面等	工程の種類	備考
鉄鋼面	SOP EP-G DP	見え隠れ部分 見え隠れ部分	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種 ※ 表18.3.4による
亜鉛めっき鋼面	SOP EP-G DP	鉄鋼塗料等 その他	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種 ※ 表18.3.6による

(18.4.1~18.12.2)

塗装	種別	塗料の種類
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※ A種 ・ B種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種
・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び押出成形セメント板面 コンクリート面等	※ B種 ・ A種 上塗り等級()級 上塗り等級()級 ※ B種 ・ A種
・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ ラッカーエナメル塗り (LE)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種
・ オイルステイン塗り (OS)	ビニル床タイル塗り	※ B種 ・ A種
・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部	※ B種 ・ A種

(19.2.2)

ホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

(19.2.2~3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
・ 発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動過重性	※ 2.0	※ 熱溶接 ・ 突付け
・ 発泡層のあるもの		・ 無地 ・ 柄物	・ 防汚性 ・ 耐薬品性		

(19.2.2~3)

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
※ KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角 ・ 500角	・ 帯電防止 ・ 防汚性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0

(11.2.2)

種別	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・ 図示による ()	・ 300角 ・ ()
屋外	・ 図示による ()	・ 300角 ・ ()

ブロックパターンはJIS T 9521による

(19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接	※ 2.0	※ 60 ・ 75 ・ 100

(19.2.2)

色柄	厚さ	寸法(mm)
・ ()	・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0	・ ()

(19.3.2~3)

種別	種別	寸法	総厚さ(mm)	色柄	帯電性
※ ループパイル ・ カットパイル ・ カット、ループ併用	※ 第一種 ・ 第二種	・ 500角 ・ ()	・ 6.5 ・ ()	・ 無地 ・ 柄物	※ 3kV以下 ・ その他

タイルカーペットの敷き方

平場 ※ 市松敷き
階段部分 ※ 横線流し
・ 市松敷き

見切り、押え金物
・ 適用する (材質、形状等 ※ 図示)
・ 適用しない

(19.4.2~3) (表19.4.1~8)

種別	工法	仕上げの種類
・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材		※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ※ 平滑仕上げ

17 内装工事

9 フローリング張り

9 畳敷き

10 せつこうボード
その他ボード張り

11 壁紙張り

12 断熱材

フローリング張り (19.5.2)

種類	工法	厚さ、幅、長さ	樹種	仕上塗装
・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り)	16×75×400 12×75×400	・ ひのき ・ なら	・ 塗装品 ・ 無塗装品
・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	08×75×400	・ ひのき ・ なら	
・ 複合フローリング (天然木化粧)	・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り) ・ 接着工法		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ひのき ・ なら

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
間伐材の適用 ※ 適用する ※ 適用しない

天然木化粧複合フローリング

工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ
・ 釘留め工法(根太張り)	・ なら		※ A種 ・ B種 ・ C種	※ 適用する ※ 適用しない	※ 塗装品 ※ 無塗装品
・ 釘留め工法(直張り)	・ なら	板厚 ・ 8以上 板幅 ・ 75以上 板長さ ・ 800以上			
・ 接着工法	・ なら				

接着剤工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ※ 行う (施工箇所) ※ 行わない
※ ウレタン樹脂ワニス塗り
※ オイルステインの上・ワックス塗り
※ 生地のままワックス塗り

9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種別

・ A種 (畳表: ・ JS J1)
・ B種
・ C種 (畳床: ・ PS-C20
・ PS-C25
・ PS-C30
・ D種 (畳床: ・ KT-I
・ KT-II
・ KT-III
・ KT-K
・ KT-N)

下地の種類
・ 横仕 表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

・ 衝撃緩和型畳
畳表(JIS A 5902) ・ C1
・ C2

(19.7.2~3) (表19.7.1)

規格名称	種類	厚さ等
・ 木質系セメント板 ・ 繊維強化セメント板 ・ 火山性ガラス質複層板 ・ 繊維板 ・ パーティクルボード ・ 吸音材料 ・ せつこうボード製品		

普通合板
表板の樹種名 ()
板面の品質 ()
厚さ ()
防虫処理 行う 行わない

天然木化粧合板
化粧板の樹種名 ()
厚さ ()
防虫処理 行う 行わない

特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
・ オーバーレイ
・ プリント
・ 塗装
・ ()
表面性能 ()
厚さ ()
防虫処理 行う 行わない

天井のボードの重ね張り 行う 行わない
合板類の張付け 行う A種 B種
せつこうボードの目地工法 仕上表による

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)

壁紙

※ F☆☆☆☆
接着剤
※ F☆☆☆☆

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)
		・ 不燃 ・ 準不燃	

商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

素地ごしらえの種類 (19.8.3)

モルタル面及びせつこうプラスター面
コンクリート面
せつこうボード面
けい酸カルシウム板面

・ A種 ※ B種
・ A種 ※ B種
・ A種 ※ B種
・ A種 ※ B種

(19.9.3)

断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキン層なし)	※ 2種b ※ 3種b(設地部分)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノール保温材(3種2号を除く)	

(19.9.3)

断熱材現場発泡工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ A種1 ・ A種1H	・ 25 ・ 30	※ 図示による

18 ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 (20.2.2) 構造形式: パネル構造・薄構造 寸法(mm): 450角以上600角以下 高さ(mm): 100・110 (床版から仕上材天端までの寸法) 耐震性能: 1.0G・0.6G 所定荷重(N): 3000・5000 荷重防止性能: 0.6以上・1.2以上 漏えい抵抗: () 表面仕上げ材: タイルカーペット・帯電防止床タイル 床パネルの材質: アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等 構造材の材質: アルミニウム製・鋼製(仕上げ) 配線用取り出しパネル: フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合: 20~30% 配線取り出し開口: パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 表示: 図示による 空調用吹き出し(吸い込み)パネル: なし・あり(形式、施工箇所:図示による) ロールシャッター性能: 適用しない・適用する(適用室:)																																
	2 可動間仕切	構成形式 (20.2.3) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">遮音性 (db)</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パネル</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵)</td> <td>・アルミ</td> <td>・木質系</td> <td>※ 30以上</td> <td>・0</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式(露出)</td> <td>・スチール</td> <td>・スチール系</td> <td>()</td> <td>・12</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td></td> <td>・ガラス系</td> <td>※ 60以上</td> <td>・20</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td></td> <td>・アルミニウム合金系</td> <td>()</td> <td>・28</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36</td> </tr> </table>	構造形式	構成基材の種類		総厚さ(mm)	遮音性 (db)	スタッド	パネル	・スタッド式(内蔵)	・アルミ	・木質系	※ 30以上	・0	・スタッド式(露出)	・スチール	・スチール系	()	・12	・パネル式		・ガラス系	※ 60以上	・20	・スタッドパネル式		・アルミニウム合金系	()	・28					・36
	構造形式	構成基材の種類		総厚さ(mm)	遮音性 (db)																													
		スタッド	パネル																															
	・スタッド式(内蔵)	・アルミ	・木質系	※ 30以上	・0																													
	・スタッド式(露出)	・スチール	・スチール系	()	・12																													
	・パネル式		・ガラス系	※ 60以上	・20																													
	・スタッドパネル式		・アルミニウム合金系	()	・28																													
					・36																													
	3 移動間仕切	表面仕上げ材 (20.2.4) <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・鋼板</td> <td>・0.6</td> <td>・メタリウム樹脂焼付</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>・0.8</td> <td>又はアクリル樹脂焼付</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> </tr> </table> パネル内に取り付ける建具: あり(※図示による)・なし	材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	・鋼板	・0.6	・メタリウム樹脂焼付	()	・0.8	又はアクリル樹脂焼付			・壁紙張り																				
	材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ																															
	・鋼板	・0.6	・メタリウム樹脂焼付																															
	()	・0.8	又はアクリル樹脂焼付																															
			・壁紙張り																															
	4 トイレブース	操作方法 (20.2.4) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧縮装置</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・手動式</td> <td>・プッシュ式</td> <td>・60程度</td> <td>・鋼板</td> <td>※ 焼付塗装</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・100程度</td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td>・部分電動式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	操作方法	圧縮装置	総厚さ(mm)	表面仕上げ材		遮音性 (db/500Hz)	材質	パネル表面仕上げ	・手動式	・プッシュ式	・60程度	・鋼板	※ 焼付塗装	・36未満	・電動式	・ハンドル式	・100程度		・壁紙張り	・36以上	・部分電動式											
	操作方法	圧縮装置				総厚さ(mm)	表面仕上げ材		遮音性 (db/500Hz)																									
材質			パネル表面仕上げ																															
・手動式	・プッシュ式	・60程度	・鋼板	※ 焼付塗装	・36未満																													
・電動式	・ハンドル式	・100程度		・壁紙張り	・36以上																													
・部分電動式																																		
5 手すり	表面材の種類 (20.2.5) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th rowspan="2">脚部形状</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>※ メタリウム樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td>・標準</td> <td>・アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td></td> <td>・R</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・表面材と同等</td> </tr> </table>	表面材の種類	脚部形状	ドアエッジ		形状	材質	※ メタリウム樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	・標準	・アルミニウム製	・ポリエステル樹脂系化粧板		・R	・ステンレス製				・表面材と同等															
表面材の種類	脚部形状			ドアエッジ																														
		形状	材質																															
※ メタリウム樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	・標準	・アルミニウム製																															
・ポリエステル樹脂系化粧板		・R	・ステンレス製																															
			・表面材と同等																															
6 階段滑り止め	材質 (20.2.7) <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付工法</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製(SUS304)</td> <td>※ 35</td> <td>※ 接着工法</td> </tr> <tr> <td>ビニルタイヤ入り</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </table>	材質	幅(mm)	取付工法	・ステンレス製(SUS304)	※ 35	※ 接着工法	ビニルタイヤ入り	()	()																								
材質	幅(mm)	取付工法																																
・ステンレス製(SUS304)	※ 35	※ 接着工法																																
ビニルタイヤ入り	()	()																																
7 床目地枠	床仕上げの異なる箇所には目地枠を入れる。 ※ ステンレス製 □型 (幅40程度 7.5) ・ ステンレス製 6×12 ・ 黄銅製 6×12																																	
8 視覚障害者用床タイル	種類 (20.2.9) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>取付方法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル製</td> <td>直付け</td> <td>※ 平面</td> <td>アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル</td> <td></td> <td>※ 曲面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レンジコンクリート製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レンジコンクリート製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ブロックパターンはJIS T 9251による	種類	取付方法	形状	備考	・塩化ビニル製	直付け	※ 平面	アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き	・磁器質タイル		※ 曲面		・レンジコンクリート製				・磁器質タイル				・レンジコンクリート製												
種類	取付方法	形状	備考																															
・塩化ビニル製	直付け	※ 平面	アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き																															
・磁器質タイル		※ 曲面																																
・レンジコンクリート製																																		
・磁器質タイル																																		
・レンジコンクリート製																																		
9 黒板及びホワイトボード	種類 (20.2.12) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>取付方法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ステンレス製(SUS304)</td> <td>直付け</td> <td>※ 平面</td> <td>アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	取付方法	形状	備考	※ ステンレス製(SUS304)	直付け	※ 平面	アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き	()																								
種類	取付方法	形状	備考																															
※ ステンレス製(SUS304)	直付け	※ 平面	アルミニウム製種、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付きマーキングペン受け付き																															
()																																		
10 タラップ	種類 (20.2.13) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ステンレス製(SUS304)</td> <td>※ 研磨なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	仕上げ	備考	※ ステンレス製(SUS304)	※ 研磨なし		()																										
種類	仕上げ	備考																																
※ ステンレス製(SUS304)	※ 研磨なし																																	
()																																		
11 煙突ライニング	材料 (20.2.14) 煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度: 400℃・650℃ () 工法: ()																																	
12 ブラインド	形式 (20.2.15) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>横型ブラインド</th> <th>縦型ブラインド</th> </tr> <tr> <td>開閉方式</td> <td>※ キヤ式・コード式</td> <td>※ 2本操作コード方式</td> </tr> <tr> <td>スラットの幅</td> <td>※ 25・35</td> <td>※ 80・100</td> </tr> </table>	形式	横型ブラインド	縦型ブラインド	開閉方式	※ キヤ式・コード式	※ 2本操作コード方式	スラットの幅	※ 25・35	※ 80・100																								
形式	横型ブラインド	縦型ブラインド																																
開閉方式	※ キヤ式・コード式	※ 2本操作コード方式																																
スラットの幅	※ 25・35	※ 80・100																																
13 ロールスクリーン	材質 (20.2.16) (表20.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ポリエステル</td> <td>※ チェーン式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・綿</td> <td>・アルコード式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス繊維</td> <td>・電動式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	操作方式	備考	※ ポリエステル	※ チェーン式		・綿	・アルコード式		・ガラス繊維	・電動式																						
材質	操作方式	備考																																
※ ポリエステル	※ チェーン式																																	
・綿	・アルコード式																																	
・ガラス繊維	・電動式																																	
14 カーテン	形式 (20.2.16) (表20.2.1) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・つまみひだ</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・箱ひだ、片ひだ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>・プレーンひだ</td> <td></td> </tr> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類	・シングル	・片引き	・つまみひだ	()	・ダブル	・引分け	・箱ひだ、片ひだ			・電動	・プレーンひだ																		
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類																															
・シングル	・片引き	・つまみひだ	()																															
・ダブル	・引分け	・箱ひだ、片ひだ																																
	・電動	・プレーンひだ																																
15 カーテンレール	レール及びブラケットの強さによる区分 (20.2.16) ※ 10-90 () レールの材質による区分: アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材																																	
16 カーテンボックス	仕上げ (20.2.16) 形状: ※ アルマイト () ※ 角型 () フック: ※ 鋼製 () ※ 樹脂製 ()																																	

18 ユニット及びその他工事	16 コーナービート (壁ボード出隅保護金物)	材質: ※ アルミニウム押し出材差込型 () ※ シルバー・焼付 () ・ コーナー保護金物付きジョイントテープ																																									
	17 天井見切縁	材質: アルミニウム押し出材 ※ 塩化ビニル製 () 施工箇所: ※ 仕上表による ()																																									
	18 点検口	形式 () <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450角</td> <td>・一般形</td> <td>・鍵付き</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・600角</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>・アルミニウム製目地</td> <td>・450角</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・600角</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	材質	寸法	形式	備考	天井	・アルミニウム製	・450角	・一般形	・鍵付き			・600角			床	・アルミニウム製目地	・450角					・600角																		
	形式	材質	寸法	形式	備考																																						
	天井	・アルミニウム製	・450角	・一般形	・鍵付き																																						
			・600角																																								
	床	・アルミニウム製目地	・450角																																								
			・600角																																								
	19 収納・収納家具	合板類 () ホルムアルデヒド放出量: ※ F☆☆☆☆ () ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びビパーティクルボード																																									
	20 消火器ボックス	※ 既製品(埋込みタイプ) <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上</th> <th>寸法</th> <th>扉</th> <th>表示</th> </tr> <tr> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 焼付塗装</td> <td>※ W300×H900程度</td> <td>※ 有り</td> <td>※ 絵・文字表示</td> </tr> </table>	材質	仕上	寸法	扉	表示	※ 鋼製	※ 焼付塗装	※ W300×H900程度	※ 有り	※ 絵・文字表示																															
	材質	仕上	寸法	扉	表示																																						
	※ 鋼製	※ 焼付塗装	※ W300×H900程度	※ 有り	※ 絵・文字表示																																						
	21 ステンレス流し台	※ 既製品: 優良住宅部品(セクショナルキッチン) 上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付																																									
	22 コンロ台	※ 既製品: 優良住宅部品(セクショナルキッチン) テーブルトップはステンレス製、バックガード (※有り・無し)																																									
	23 吊戸棚	※ 既製品: 優良住宅部品(セクショナルキッチン)																																									
	24 水切欄	※ 既製品ステンレス製一般型 ()																																									
25 くつふきマット	材質: ステンレス製/ノンスリップ型 (鍍金物: ステンレス製) ・ 硬質アルミニウム製 (鍍金物: 硬質アルミニウム製) ・ 塩化ビニル製またはゴム製 (鍍金物: ステンレス製)																																										
26 旗竿	材質 () <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム合金製</td> <td>・ テーパー式</td> <td>・ ロープ式</td> <td>・ 埋込式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 同一断面式</td> <td>・ ハンドル式</td> <td>・ ベース式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形状	操作方法	固定方法	備考	※ アルミニウム合金製	・ テーパー式	・ ロープ式	・ 埋込式			・ 同一断面式	・ ハンドル式	・ ベース式					・ バンド式																							
材質	形状	操作方法	固定方法	備考																																							
※ アルミニウム合金製	・ テーパー式	・ ロープ式	・ 埋込式																																								
	・ 同一断面式	・ ハンドル式	・ ベース式																																								
			・ バンド式																																								
27 旗竿受金物	材質: ※ ステンレス製(SUS304)																																										
28 フェンス	フェンスの種類: ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス																																										
29 敷地境界標	・ 花こう岩(文字記号入り) ・ コンクリートブロック製の市販品程度 ・ 金属製(真ちゅう製50角 アンカー共)																																										
30 止水板	形状: 差込式・据置式・壁張り式																																										
18 排水工事	1 排水管	材質: 遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (※ VP・VU・RS-VU) ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管																																									
	2 鋼鉄製ふた	鋼鉄製マンホールふた (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td>・ 水封形</td> <td>・ T-2用</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・ 簡易密閉形(パッキン形)</td> <td>・ T-6用</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 密閉形(テーパーパッキン形)</td> <td>・ T-20用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ RS-VU</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。 ※ 表面には用途別の標準文字付きとする。	種類	適用荷重	備	・ 水封形	・ T-2用	・ 有り	・ 簡易密閉形(パッキン形)	・ T-6用	・ 無し	・ 密閉形(テーパーパッキン形)	・ T-20用		・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形)			・ RS-VU																									
	種類	適用荷重	備																																								
	・ 水封形	・ T-2用	・ 有り																																								
・ 簡易密閉形(パッキン形)	・ T-6用	・ 無し																																									
・ 密閉形(テーパーパッキン形)	・ T-20用																																										
・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形)																																											
・ RS-VU																																											
3 グレーチング	材質 (21.2.1) <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>面鉛めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 受棒付き、ボルト固定</td> <td>・ 溝ふた(横断用)</td> <td>・ 歩行用</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製</td> <td></td> <td>・ 溝ふた(側溝用)</td> <td>・ T-2用</td> <td>・ 細め</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 溝ふた(橋ふた)</td> <td>・ T-6用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ U字溝用</td> <td>・ T-14用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ T-20用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	面鉛めつき(付着量)	上面形状	・ 鋼製	・ 受棒付き、ボルト固定	・ 溝ふた(横断用)	・ 歩行用	・ ()	・ ()	・ 凹凸形	・ ステンレス製		・ 溝ふた(側溝用)	・ T-2用	・ 細め		・ ()			・ 溝ふた(橋ふた)	・ T-6用						・ U字溝用	・ T-14用							・ T-20用			
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	面鉛めつき(付着量)	上面形状																																					
・ 鋼製	・ 受棒付き、ボルト固定	・ 溝ふた(横断用)	・ 歩行用	・ ()	・ ()	・ 凹凸形																																					
・ ステンレス製		・ 溝ふた(側溝用)	・ T-2用	・ 細め		・ ()																																					
		・ 溝ふた(橋ふた)	・ T-6用																																								
		・ U字溝用	・ T-14用																																								
			・ T-20用																																								
4 埋戻し土	※ B種 ()																																										
18 舗装工事	1 路床	路床の材料 (22.2.2~3) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>※ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> </tr> <tr> <td>・ 遮断層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クワッシュヤラン ・ クラッシュヤラン</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)</td> </tr> <tr> <td>・ 路床安定処理用添加材料</td> <td>・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(特号) ・ 消石灰(1号)</td> </tr> </table>	種別	材料	・ 盛土	※ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 凍上抑制層	・ 再生クワッシュヤラン ・ クラッシュヤラン	・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)	・ 路床安定処理用添加材料	・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(特号) ・ 消石灰(1号)																													
	種別	材料																																									
・ 盛土	※ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土																																										
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)																																										
・ 凍上抑制層	・ 再生クワッシュヤラン ・ クラッシュヤラン																																										
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)																																										
・ 路床安定処理用添加材料	・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(特号) ・ 生石灰(1号) ・ 消石灰(特号) ・ 消石灰(1号)																																										
2 路盤	試験: 砂の粒度試験 () 路床度の支持力比(CBR)試験 () 路床締固め度の試験 ()																																										

20 舗装工事	2 路盤	路盤の材料 (22.3.3) ・ 砕石 C-40 ・ 再生クワッシュヤラン RC-40 ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ CS-40								
	3 アスファルト舗装	試験 (22.3.5) 路床締固め度の試験: 行う・行わない 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) <table border="1"> <tr> <td>・ 一般地域</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・ 寒冷地</td> <td>・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> シールコートの施工: 行う・行わない (22.4.5) 試験: アスファルト混合物等の抽出試験: 行う・行わない (22.4.6)	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 寒冷地	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)		・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)		・ 細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)
	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)								
	・ 寒冷地	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)								
		・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)								
		・ 細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)								
	4 コンクリート舗装	早強セメント ※ 使用しない・使用する (22.5.3) 溶接金網 ※ 使用しない・使用する (22.5.6) 試験: コンクリート版の厚さの試験: 行う・行わない								
	5 ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 (22.8.2~3) ・ インターロッキングブロック舗装								
	6 車止め	車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き 全面接着アンカー併用固定(掘り込み30mm埋め込み65mm以上)								
	7 区画線等	トラフィックペイント JIS規格品 ※ 溶融型(7.1.5) ・ 加熱型(7.1.0程度) 区画線幅 ※ 150 () ・ 身障者専用駐車スペース表示 (1300角) ・ 駐車スペースナンバー表示 (350角)								
	21 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度(pH)試験 (23.1.3) 水溶性塩類(EC)の試験: 行う・行わない							
		2 植栽基盤の整備	土壌改良材: 適用する・適用しない (23.2.2)							
		3 植込み用土	※ 建設発生土の良質土: 客土 (23.2.3)							
		4 土壌改良材	・ 適用する (施工範囲 ※ 図示による) (23.2.3)							
		5 芝	種類: ※ コウライ芝 ・ ノシバ (23.4.2)							
		6 樹木札	図示による							
7 枯損樹木などの植替え		※ 引渡し日から1年 ()								
8 その他										

22 その他

1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定

1)対象揮発性有機化合物(VOC)

2)測定室

3)測定方法

※簡易測定法による。

VOCの種類	測定方法
※ホルムアルデヒド	・検知紙法
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	・検知紙法・検知管法・定電位電解法・吸光度法・パッサ型採取
・厚生労働省の標準的測定方法による。	・パッサ型採取

※簡易測定法による。

VOCの種類	採取方法	測定方法
・ホルムアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフィー
・アセトアルデヒド	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・トルエン	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・キシレン	・固相吸着/加熱脱着法	・()
・パラジクロロベンゼン	・容器採取法	・()
・スチレン		
・エチルベンゼン		

2 果産材・地域材の活用

1)木工事

2)木造工事

3)石工事

4)その他()工事

24 施工条件

1 工程関係

※調整無し

・別途工事との工程調整が必要有り

調整項目

- 資材等の流用
- 仮設及び工事用道路等の調整
- 建設機械等の調整
- 資材等の流用
- 施工順序の調整
- 図示による
- その他()

2 施工時期

施工時間

施工方法

※制限無し

・制限有り

・制限する工程名()

・施工時期(・土日祝日のみ・図示による・その他())

・施工時間(・時～時まで・)

・施工方法()

3 他機関との協議

協議が必要な機関名()

協議完了見込み時期()

4 工事用地

・下記以外は図示等による。

(1) 工事車両の駐車場 (※構内・())

(2) 資材置き場 (※構内・())

(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内・())

・仮設ヤード ※無し ・有り(※図示による・())

5 公害対策

※施工方法の制限無し

・施工方法の制限有り

・騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他()

・施工方法等

・指定工法名() ・別途協議による ・図示による

・事業損失防止に関する調査

・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定

・その他()

・調査箇所

・図示による ・別途協議

・調査時期

・図示による ・()

6 安全対策

・近接公共施設等に対する制限

・近接公共施設名等(・鉄道・電気・ガス・水道・電話・その他())

・制限を受ける工種()

7 その他

※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。

※当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

24 施工条件

別表-1の記入上の注意:※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。

別表-1 設備工事との工事区分表

機器の基礎	電気関係	機械関係	工事内容			
			建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	機械関係	屋内	※	・	※
			屋外	※	・	※
			屋上	※	・	※
			自家発電機基礎(アンカーボルトを除く)	※	・	※
			テレビアンテナ基礎(#)	※	・	※
			避雷針の基礎(#)	※	・	※
			屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※	・	※
			屋上設備(#)	※	・	※
			屋外設備(#)	※	・	※
			梁台、アンカーボルト	・	※	※
特記した基礎	※	・	※			
開口部	電気関係	機械関係	補強を要するもの	・	※	※
			貫通スリーブ	・	※	※
			補強を要しないもの	・	※	※
			貫通型枠	・	※	※
			補強を要するもの	・	※	※
			軽重量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	・	※	※
			補強を要しないもの(アトレットボックスは除く)	・	※	※
			埋込形分電盤	・	※	※
			端子盤等の仮枠	・	※	※
			補強を要しないもの	・	※	※
上記開口部の補強	・	※	※			
上記開口部の黒出し	・	※	※			
スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)	・	※	※			
フリーアクセスフロア用配線器具	・	※	※			
点検口	・	※	※			
外部取付ガリ	・	※	※			
ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	・	※	※			
湯沸室のフード	・	※	※			
換気扇の取付枠	・	※	※			
流し台	・	※	※			
排水トラップ共	・	※	※			
防油堤	・	※	※			
オイルサービスタングの防油堤	・	※	※			
タンク基礎	・	※	※			
床下水槽のマンホールふた	・	※	※			
雨水	・	※	※			
屋外排水管	・	※	※			
汚水、雑排水	・	※	※			
雨水立管(たてどい)	・	※	※			
トイレ手すり	・	※	※			
化粧鏡(衛生器具まわり)	・	※	※			
はめ込形洗面器用カウンター(前板付)	・	※	※			
ガスボンベ転倒防止用の鎖	・	※	※			
電気配管配線	電気関係	機械関係	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と	・	※	※
			操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	・	※	※
			防火扉レリーズ	・	※	※
			電極棒	・	※	※
			配線ビッド及びふた	・	※	※
			機器などへの接続(1次側)	・	※	※
			機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共)	・	※	※
			機器付属の制御盤への電源供給配管配線	・	※	※
			自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	・	※	※
			自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線	・	※	※
天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	・	※	※			
と付具操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)	・	※	※			
天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	・	※	※			
と付具操作スイッチと、その渡り配線	・	※	※			
個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)	・	※	※			
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	・	※	※			
小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	・	※	※			
ガス漏れ検知器	電気関係	機械関係	電気配管及び通電金具	・	※	※
			TENキー及び制御盤	・	※	※
			エレベーター出入口三方枠(金属製)	・	※	※
			エレベーター出入口三方枠(石製)	・	※	※
			シャワーユニット	・	※	※
			バスユニット	・	※	※
			洗濯機パン	・	※	※
			ボード・Tバー	・	※	※
			照明ライン設備プレート	・	※	※
			空調ライン設備プレート	・	※	※
消火器ボックス	電気関係	機械関係	自動制御設備関連のインバーター装置及び盤	・	※	※
			自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)	・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※
				・	※	※

23 東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

1 資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

2 労働者確保

(1) 本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する(労働者確保に関する積算方法の試行工事)である。

当積算(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費

労働管理費:募集及び解散に要する費用・資金以外の食事・通費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・雑工事に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2) 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。

1) 共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(当積算):設計書に積上げ計上された金額

2) 現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労働管理費)の割合: %

(3) 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5) 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。

なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7) 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△△1-1		建築士事務所名	工事名称
	設計年: 令和〇〇年〇〇月	設計者氏名	印	図面名称

<p>25</p> <p>現場環境改善 → 快適トイレの設置</p>	<p>1 内容</p> <p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事現場毎に設置するトイレのうち男女別1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 (1) 洋式(洋風)便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする)</p> <p>【付属品として備えるもの(全項目必須)】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】 (12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13) 換気装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したものを添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>2 設置に要する費用</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の実支出がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	<p>27</p> <p>準備期間確保工事</p> <p>2 フレックス工事</p> <p>3 着工届の提出</p> <p>4 コリンズの登録</p> <p>5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係</p> <p>6 その他</p> <p>28</p> <p>再生資源利用計画書</p> <p>2 再生資源利用促進計画</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>フレックス工事執行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。</p> <p>・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>・ 工事の始期までの着工前準備期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工前準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p>	<p>29</p> <p>1 内容</p> <p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2.様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>																			
<p>26</p> <p>熱中症対策</p>	<p>(1) 工期・工程等</p> <p>・ 猛暑による作業不能日数</p> <p>本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。</p> <p>i) 作業不能日数: ●日間</p> <p>ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●※1(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和●●年～●●年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和 63年法律第 91 号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。</p> <p>iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●(福島)地点における WBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下 第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。</p> <p>※1 下表の観測地点を記入(参考)</p> <table border="1" data-bbox="371 1186 801 1333"> <thead> <tr> <th>建設事務所管内</th> <th>観測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松</td> </tr> <tr> <td>県中</td> <td>船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>白河, 東白川</td> </tr> <tr> <td>会津若松</td> <td>金山, 若松</td> </tr> <tr> <td>喜多方</td> <td>松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代</td> </tr> <tr> <td>南会津</td> <td>只見, 南郷, 田島, 松枝岐</td> </tr> <tr> <td>相双</td> <td>相馬, 飯館, 浪江, 川内, 広野</td> </tr> <tr> <td>いわき</td> <td>山田, 小名浜</td> </tr> </tbody> </table>	建設事務所管内	観測地点	県北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松	県中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川	県南	白河, 東白川	会津若松	金山, 若松	喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代	南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐	相双	相馬, 飯館, 浪江, 川内, 広野	いわき	山田, 小名浜	<p>29</p> <p>総合評価方式における技術提案書の確認</p>			
建設事務所管内	観測地点																						
県北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松																						
県中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川																						
県南	白河, 東白川																						
会津若松	金山, 若松																						
喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代																						
南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐																						
相双	相馬, 飯館, 浪江, 川内, 広野																						
いわき	山田, 小名浜																						